

平成 26 年（2014 年）の焼岳の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 発表中の火山現象に関する警報等及び噴火警戒レベル

平成 23 年 3 月 31 日 13 時 00 分	噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）
----------------------------	--------------------

○ 2014 年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1、図 2）

北陸地方整備局が設置している焼岳北カメラ（焼岳の北北西約 4 km）による観測では、北峰付近の噴気孔からの噴気の高さは概ね 100m 以下で経過しています。また、同局設置の焼岳南西斜面カメラ（焼岳の西南西約 2.5 km）による観測では、岩坪谷上部の噴気孔からの噴気の高さは概ね 100 m 以下で経過しています。

・ 地震活動（図 3 - 、図 4、表 1）

5 月上旬から中旬にかけて焼岳山頂の北側数 km を震源とする地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下しました。この期間の地殻活動や北峰付近及び岩坪谷上部の噴気の状況等に特段の変化はありませんでした。他の期間では火山性地震は概ね少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動や低周波地震は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 3 - ～ ）

GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

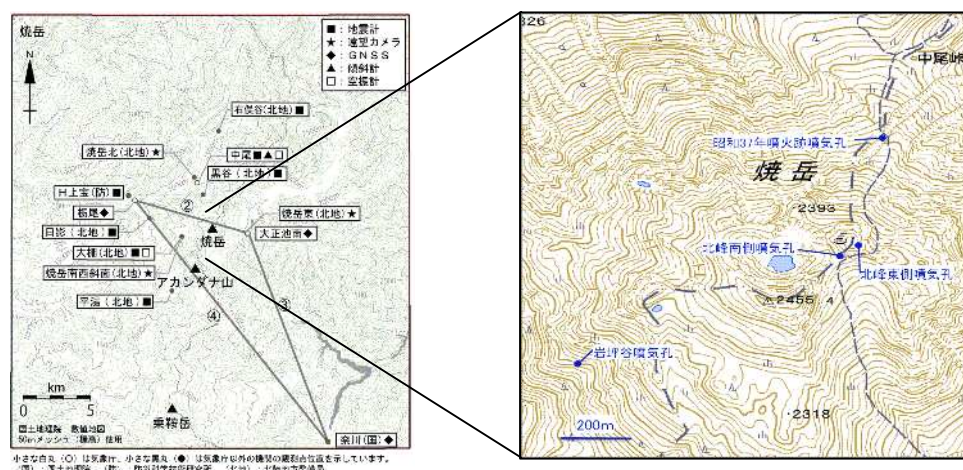


図 1 焼岳 観測点配置及び噴気孔位置
GNSS 基線 ～ は図 3 の ～ に対応しています。

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。また、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』を複製しています（承認番号：平 26 情複、第 658 号）。



図 2 焼岳 山頂部及び南西斜面の状況
(左図：11 月 21 日 焼岳北カメラ、右図：11 月 4 日 焼岳南西斜面カメラ)

【計数基準の変遷】開 始	2010 年 8 月 2 日～2010 年 9 月 21 日	中尾振幅 0.5 μ m/s 以上、S-P 2 秒以内
変 更	2010 年 9 月 22 日～2011 年 3 月 10 日	中尾振幅 0.5 μ m/s 以上、S-P 1 秒以内
変 更	2011 年 3 月 11 日～2013 年 9 月 30 日	中尾振幅 3.0 μ m/s 以上、S-P 1 秒以内
変 更	2013 年 10 月 1 日～	中尾振幅 2.0 μ m/s 以上、S-P 1 秒以内

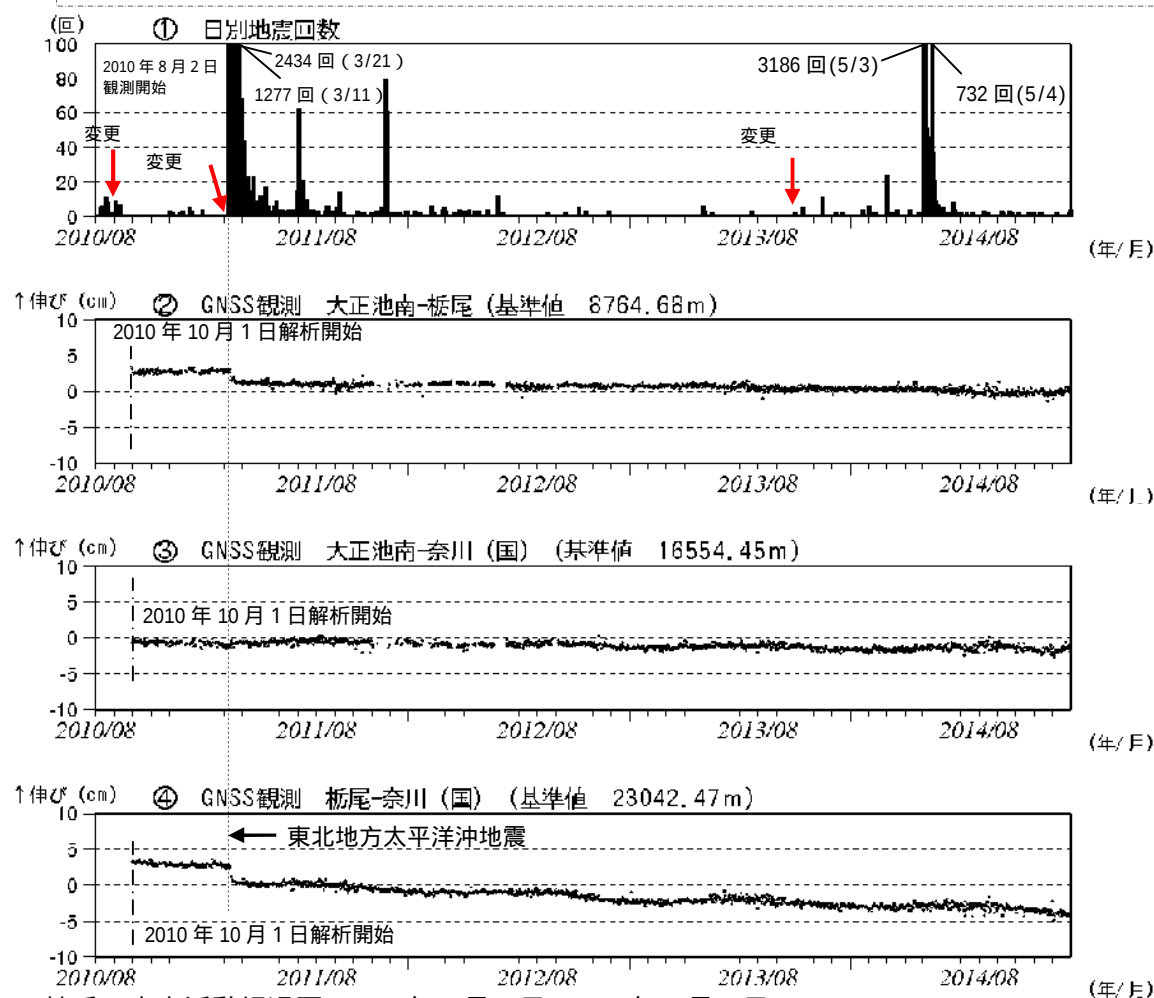


図 3 焼岳 火山活動経過図 (2010 年 8 月 2 日～2014 年 12 月 31 日)

焼岳周辺の日別地震回数

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、焼岳周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。また、5 月上旬から中旬にかけて焼岳山頂の北側数 km を震源とする地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下しました。

GNSS 連続観測による基線長変化 (国): 国土地理院

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。

は図 1 の に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

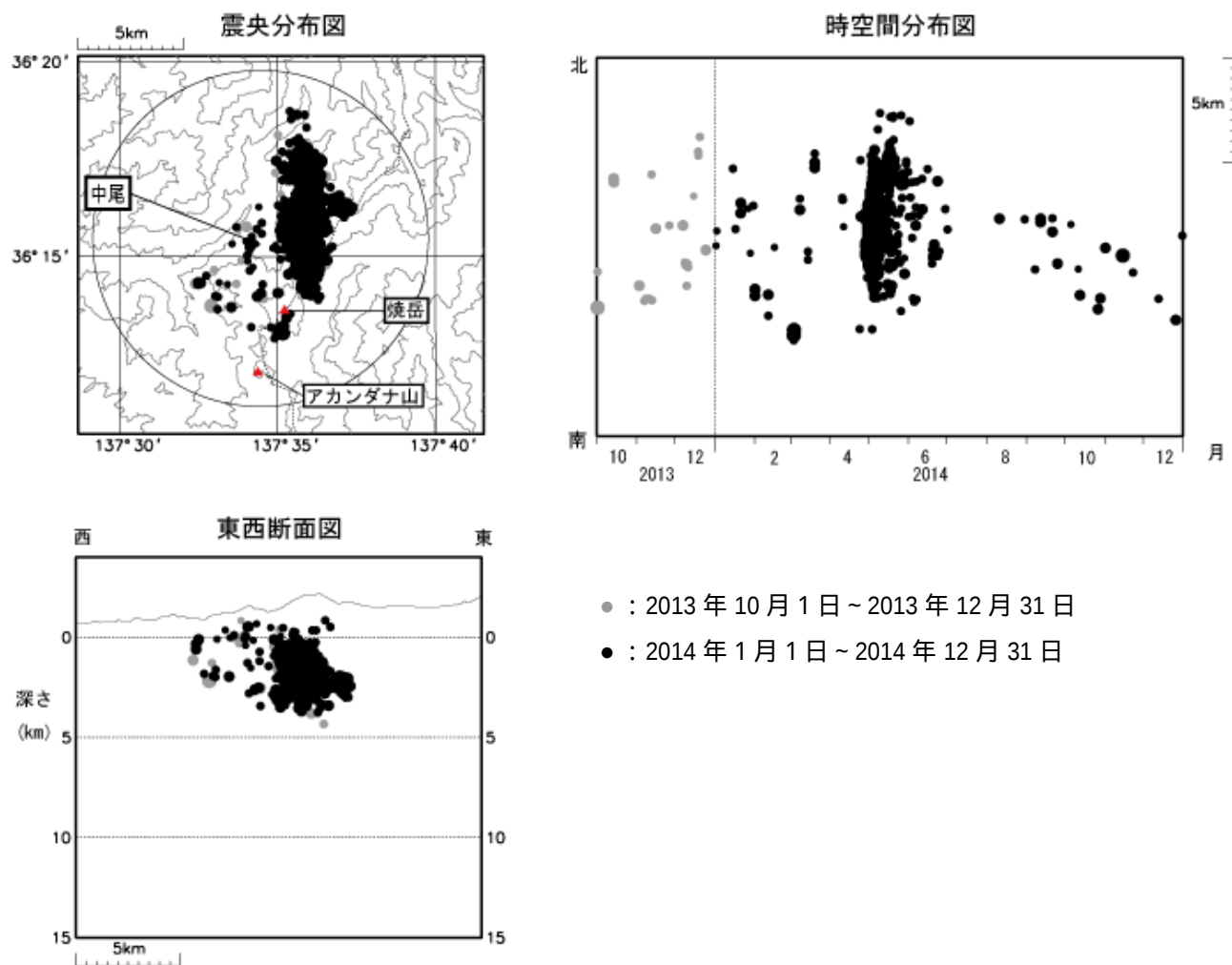


図 4 焼岳 震源分布図 (2013 年 10 月 1 日 ~ 2014 年 12 月 31 日)

5 月上旬から中旬にかけて焼岳山頂の北側数kmを震源とする地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下しました。

震央分布図中の円は図 3 - の計数対象地震 (中尾で S-P 時間 1 秒以内) のおよその範囲を示します。

表 1 焼岳 2014 年の日別地震回数

計数基準：中尾観測点上下動振幅 $2.0\mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 1.0 秒以内
は欠測時間を含む回数を示す

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日	1	6	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1
2日	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
3日	0	0	24	0	3167	2	2	0	0	1	0	0
4日	0	0	0	0	720	5	0	0	0	0	1	0
5日	0	0	0	0	263	2	1	0	0	1	0	0
6日	0	0	0	0	74	2	0	0	0	2	0	0
7日	0	2	0	0	51	2	0	0	1	0	1	2
8日	0	0	2	0	46	1	0	0	3	0	1	0
9日	0	0	0	0	37	1	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	4	20	1	1	3	0	0	2	1
11日	0	2	0	2	16	2	0	0	2	1	1	0
12日	0	0	0	0	26	2	2	0	1	1	1	1
13日	0	0	0	0	27	1	0	0	0	1	0	0
14日	0	0	2	0	31	0	0	0	0	0	0	0
15日	1	0	0	0	20	2	0	2	0	0	2	0
16日	0	1	0	0	113	1	0	1	0	0	0	1
17日	1	1	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	17	0	0	1	0	0	0	0
19日	0	0	4	0	9	8	0	1	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	21	1	1	0	0	0	0	0
21日	4	0	0	0	7	0	2	0	3	1	0	0
22日	0	0	0	0	9	2	0	0	1	2	1	0
23日	0	0	0	1	5	4	0	0	0	1	1	0
24日	0	0	0	2	4	1	1	0	0	1	0	1
25日	0	0	0	0	7	0	1	0	2	0	0	0
26日	1	0	0	0	7	0	0	0	0	1	0	1
27日	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0
28日	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	1
29日	0		0	2	0	2	0	0	0	0	0	2
30日	0		0	0	3	1	0	1	0	2	0	1
31日	1		1		2		0	0		0		4
月合計	11	12	33	11	4748	46	12	9	14	16	14	17
年合計	4943											

表 2 焼岳 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高(m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	中尾	36° 15.67′	137° 34.45′	1151	-74	2010.8.2	短周期 3成分
傾斜計	中尾	36° 15.7′	137° 34.5′	1151	-74	2011.4.1	
空振計	中尾	36° 15.7′	137° 34.5′	1151	2	2010.8.2	
GNSS	大正池南	36° 13.4′	137° 36.9′	1615	4	2010.10.1	2周波
	栃尾	36° 14.8′	137° 31.4′	807	2	2010.10.1	2周波